

免疫療法の専門医療機関 ICVS東京Clinic



医療法人社団 ICVS

ICVS東京クリニック

医師紹介

医療法人社団ICVS ICVS東京Clinic 蓮見 賢一郎

<略歴>

埼玉医科大学卒業。東京大学医科学研究所、

1988年医療法人社団珠光会理事長就任。

1999年米国法人蓮見国際研究財団理事長就任。

消化器外科。専門癌症免疫治療和終末期医療。

参加了很多国内外的学会、在世界各地举行了多次癌症疫苗和免疫治疗研讨会



医療法人社団ICVS
ICVS東京クリニック
理事長 蓮見 賢一郎

我们追求的医疗

我们是1957年成立的专门做免疫疗法的医疗机构。

半个世纪以上，一直在日本持续做着免疫疗法。日本的患者数已经超过15万以上，近几年来来日本接受我们的免疫治疗的国外患者2万人数以上，还有很多各国患者寄去莲见疫苗注射。

通过医疗的支持、让患者拥有一个「充实生活的人生」

- ① 维持身体健康的医疗
- ② 预防癌症的医疗
- ③ 治疗癌症的医疗
- ④ 预防癌症复发的医疗

身体对抗癌症的免疫系统

◆分两个阶段的对抗癌症的免疫系统

保护身体免受疾病侵害的免疫系统

「自然免疫」

「獲得免疫」

防护疾病的两条防线。

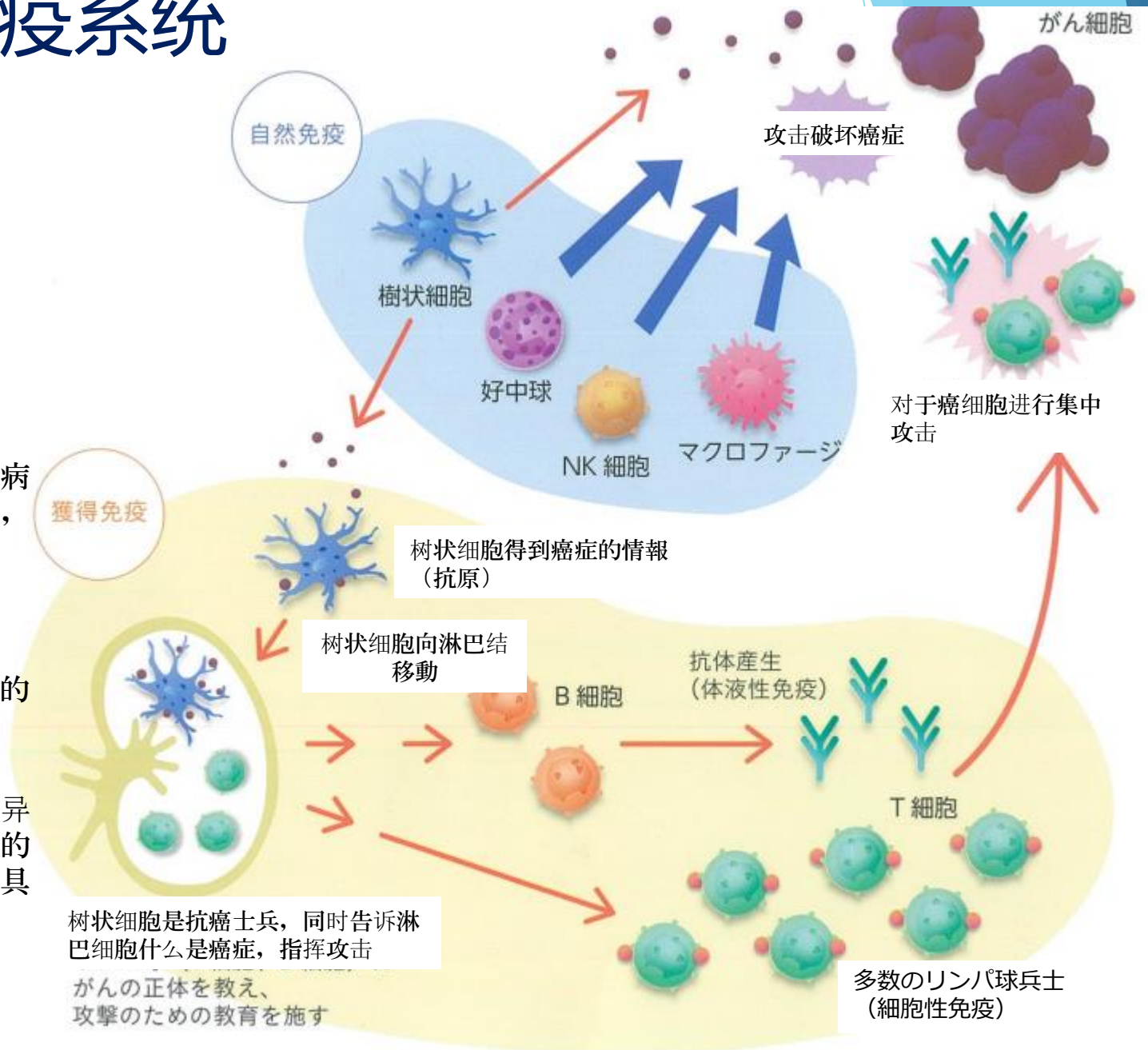
免疫是以先天免疫首先攻击侵入人体的细菌，病毒（以及癌细胞），如果仍然无法对抗侵入者，身体就会出动获得性免疫对抗侵入者。

◆「樹状細胞」是免疫系统的指挥塔。

「樹状細胞」是「自然免疫」和「獲得免疫」的

协同指挥中心。

被称为免疫系统指挥塔的树状细胞，寻找有关异物的信息，并将这些信息传递给等待在淋巴结的适应性免疫团队。获得性免疫攻击抗原，包括具有很强杀伤力的T细胞，促进癌细胞的清除。



根据病期制定分期治疗战略

癌症治疗是「全面战」。

通过包括标准治疗和各种不同的治疗方法很好的结合、可以协同提高治疗疗效。

除了莲见疫苗意外、还有很多免疫治疗方案，我们研发的HITV療法是主要的免疫療法。也是我们为患者提出的最好的免疫治疗方案。



莲见疫苗介绍

Hasumi疫苗是由已故的Kishiro Hasumi博士根据癌症病毒理论于1931年开始研发，1948年开始使用的。在日本已经有近85年的使用历史，主要是对癌症的预防和治疗，有很多的临床业绩。

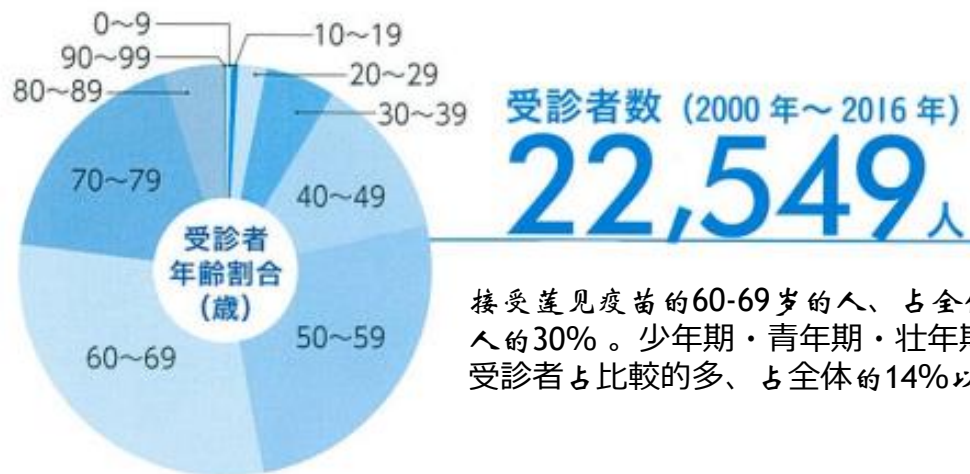
它可以将体内的癌细胞识别为异物，并增强自身免疫能力以消除它们，并且没有副作用。确诊癌症后，可以将Hasumi疫苗与手术，抗癌药，放射线疗法等标准疗法并用，在保持体力的同时消除癌症，经过常规治疗后，可以使用Hasumi疫苗。为了防止日常生活中的复发或疾病已经发展，通过抑制疾病的进展来延长寿命并改善QOL（生活质量）。

免疫療法製剤「蓮見疫苗」

关于1948年、开始的一个全新的免疫療法製剤「蓮見疫苗」的介绍如下：

莲见疫苗的研究开始于1931年，即使在90年后的今天，我们仍然为很多患者提供这项治疗，并且在不断研究改良，其中有预防型疫苗和治疗型疫苗。

研究開始から
85年以上

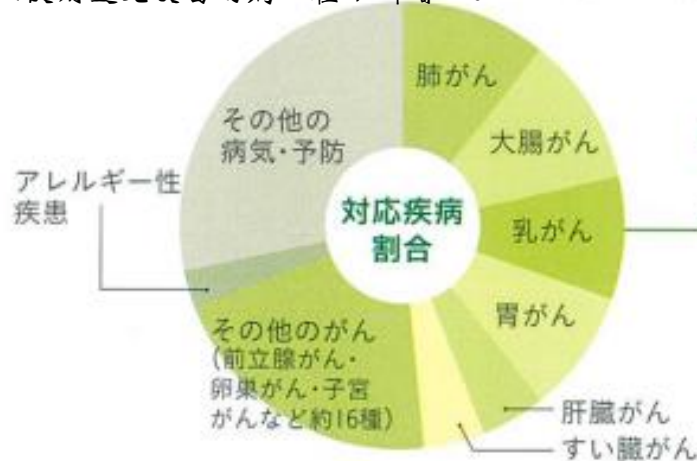


接受莲见疫苗的60-69岁的人、占全体的病人的30%。少年期・青年期・壮年期受診者占比較的多、占全体的14%以上。

42の国・地域
から来院

接受莲见疫苗的患者，2000-2016年除了日本以外，有42个国家22549名病人来日本接受莲见疫苗治疗，还有很多各国的病人寄去使用。其中包括各种癌症和各期癌症病人。并且使用莲见疫苗的病人在不断增加。

その他 (イラン・オーストラリア・イタリア・カナダ・マレーシア・ロシア・ドイツ・など) 636名



28を超える
疾病に対応

莲见疫苗除了治疗癌症，对其他28种以疾病都有治疗和预防效果，根据病情不连建议i奥德种类也不同。

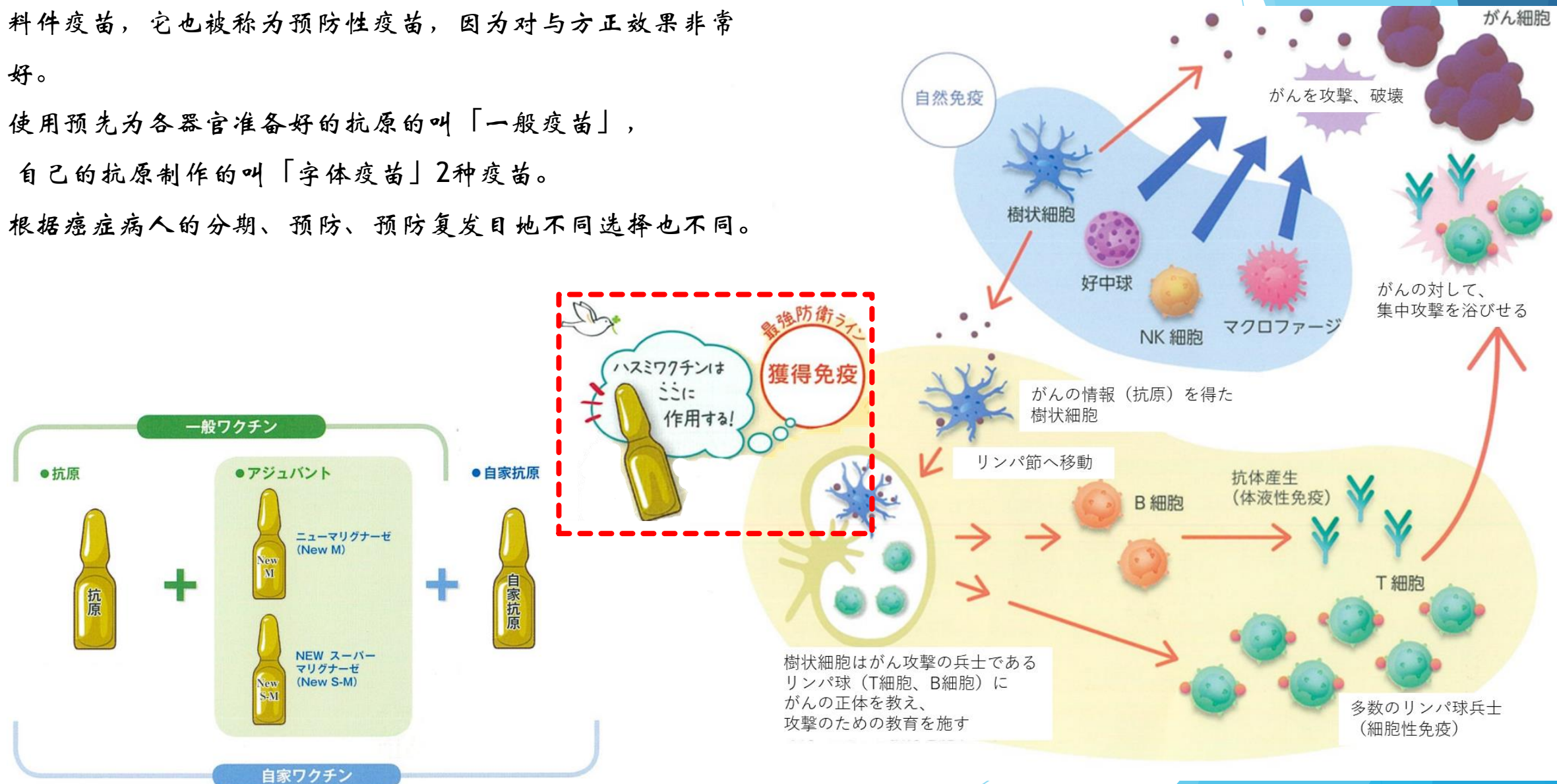
能使体内癌症消除的治疗型「莲见疫苗」

料件疫苗，它也被称为预防性疫苗，因为对与方正效果非常好。

使用预先为各器官准备好的抗原的叫「一般疫苗」，

自己的抗原制作的叫「字体疫苗」2种疫苗。

根据癌症病人的分期、预防、预防复发目的地不同选择也不同。



使用「莲见疫苗」6大好处

1. 癌症术后使用，预防癌症的复发
2. 使用莲见疫苗没有副作用
3. 如果和其他治疗法并用，能起到更好的效果
4. 能减轻化疗和放疗引起的副作用
5. 自己可以注射，所以不影响工作，所以很多病人是边工作边治疗
6. 提高QOL（生活质量）

1 再発予防に効果

ハスミワクチンは、手術後の再発予防に大変効果的です。当クリニックの調査では、5年生存率を15～25%向上させます(11頁)。

2 副作用がない

ハスミワクチンだけでなく、免疫療法の基本原理は、体に備わる「免疫システム」を使ってがんを駆逐することです。手術・抗がん剤・放射線のように、身体への侵襲性（しんそうせい）がありませんので、副作用もないというわけです。

3 他の治療法との相乗効果を期待できる

ハスミワクチンの治療メカニズムは、人間が本来持っている「免疫システム」に働きかけるもの。病気に対抗する力が高まりますので、他の治療の効果も相乗的な向上が期待できます。



4 放射線・抗がん剤の副作用を軽減させる

免疫力が高まることにより、放射線・抗がん剤などの副作用を軽減させます。

5 働きながら治療できる

ハスミワクチンの治療はとても簡単です(10頁)。働きながら治療を続けている患者様も、たくさんいらっしゃいます。



6 QOL（生活の質）を向上させる

食欲増進、倦怠感の改善、痛みの緩和など、日常生活を“元気にする”効果を発揮します。



莲见疫苗的使用目的和效果

- 与标准疗法（例如手术，化学疗法和放射疗法）结合使用，从而在维持身体体力的同时消除癌细胞（减少抗癌药和放射疗法的副作用）
- 预防标准治疗后复发
- 对晚期癌症的病人可以延长寿命作用
- 改善生活质量（生活质量：食欲增强，疼痛缓解，疲劳症状改善，体重增加等）
- 预防由遗传和生活方式而导致的癌症
- 提高5年癌症生存率

「莲见疫苗」分型

根据患者的状态・环境考虑、选定适用类型。

莲见疫苗为「皮下注射」。莲见疫苗分「安瓶型」和「带注射器型」的2种。安瓶型需要护士注射，带注射器型可以自己注射，一般情况下5天注射一次。

● アンフルタイプ

抗原とアジュバントを、それぞれ注射器で吸い上げ、注射器内で混合して皮下に投与します。原則は医療機関での投与です。



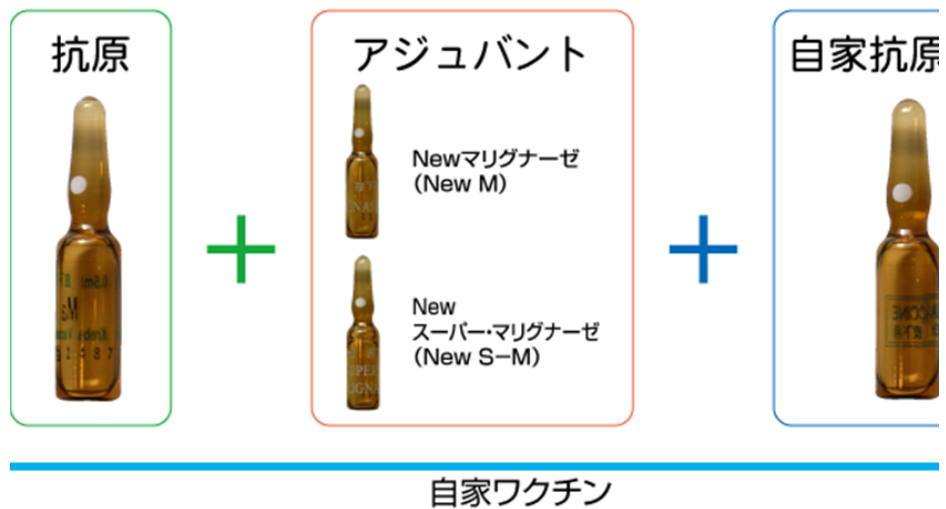
● カートリッジタイプ

抗原とアジュバントが、はじめから混合しています。インスリン注射と同じように、簡単に自己注射が行えます。痛みが少ないなどのメリットがあります。

※作成に1カ月程度要する場合があります。



一般ワクチン



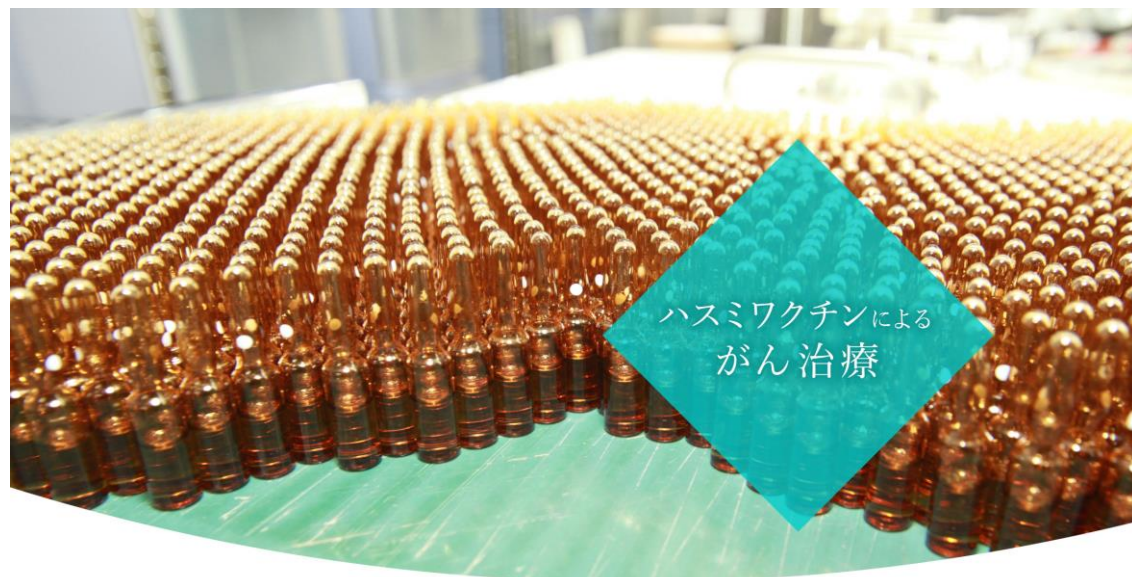
莲见疫苗的种 类

● ■普通疫苗

普通疫苗由膜型抗原和衍生自其他的佐剂组成。

■自身疫苗

自体疫苗从患者的尿液中提取抗原，并在普通疫苗之外使用。



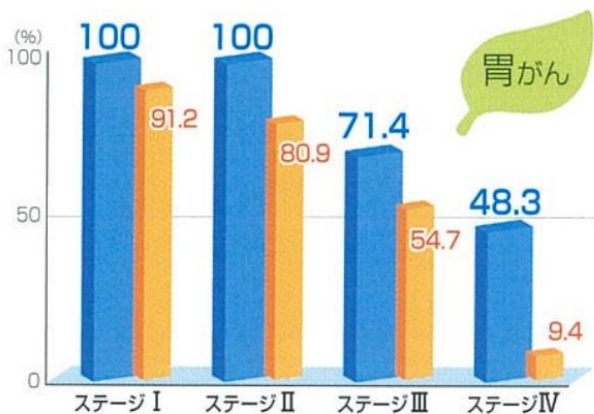
ハスミワクチンによる
がん治療

「莲见疫苗」生存率比較

5年生存率提高25%

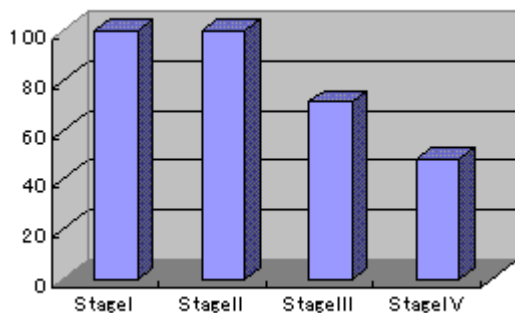
我们比较了各期癌症患者使用莲见疫苗和单独使用标准疗法的患者的5年生存率，结果见下图，试用后5年生存率提高了15-50%，特别是晚期癌症患者的生存率明显提高。

●ハスミワクチン使用・未使用の5年生存率比較

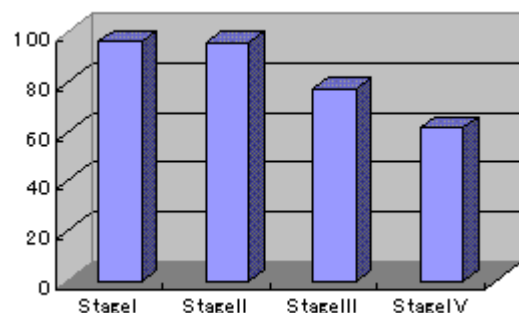


莲见疫苗治疗癌症的5年生存率(多数是晚期癌症病人)

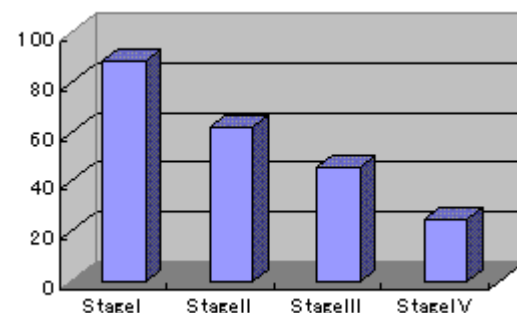
胃癌的5年生存率



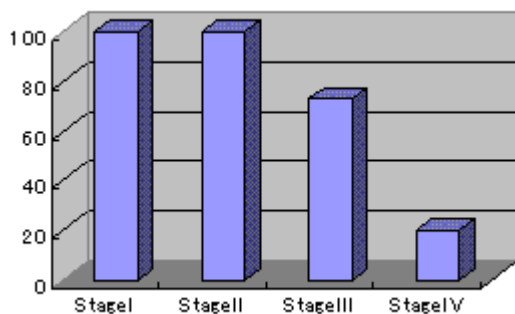
乳癌的5年生存率



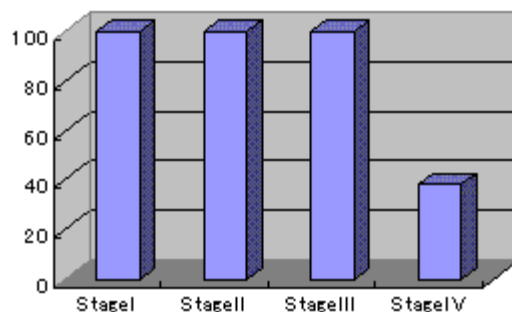
肺癌的5年生存率



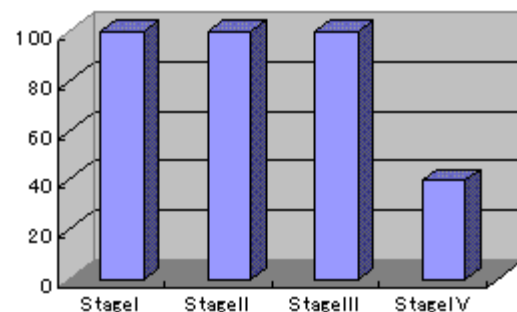
宫颈癌的5年生存率



直肠癌的5年生存率

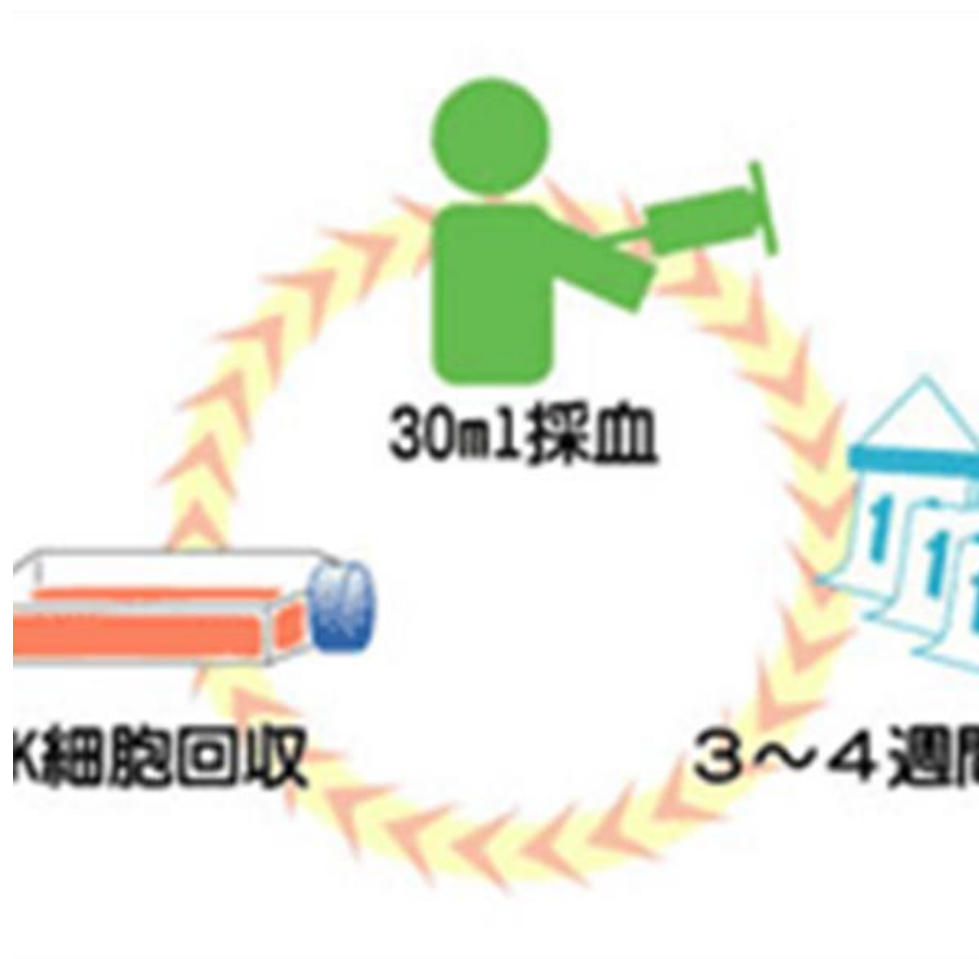


结肠癌的5年生存率



HITV疗法 (癌症的特殊免疫疗法)

- ▶ IV期晚期和复发性癌症的标准治疗很少成功，因此，可能需要姑息治疗。
- ▶ 免疫疗法也是如此，全世界只有少数几种疗法可以改善这一阶段的病情。
- ▶ HITV治疗是对晚期癌症和再发癌症最佳的治愈方案，并且有大量的临床治疗业绩。



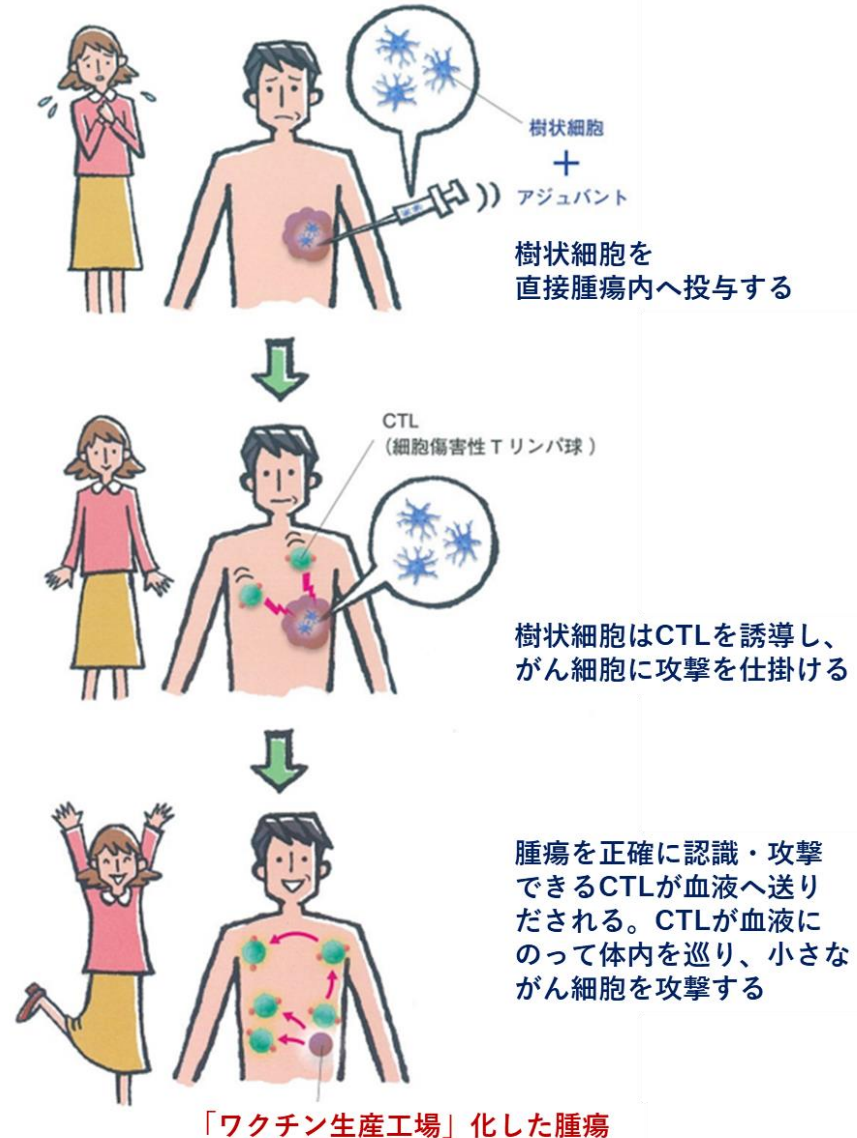
诱导培养高度杀死癌细胞的免疫细胞

- ▶ 只有“早期发现和早期治疗”的癌症，才能完全治愈，这是癌症治疗的常识。如果从原发灶转移到其他器官，或者在经过手术或抗癌药物治疗后复发的晚期癌症，那么采用标准治疗很难治愈。
- ▶ HITV治疗是针对标准治疗而无法控制的“晚期癌症”和“复发性癌症”而研发的最新免疫疗法。
- ▶ 在介绍HITV治疗时，首先要了解“树突状细胞”，也称为免疫系统的控制塔。自2011年，美国洛克菲勒大学教授Ralph Steinman博士获得了诺贝尔生理学或医学奖，树突状细胞的研究备受关注。



「HITV療法」 CTLの誘導和肿瘤の疫苗化

● 「肿瘤疫苗话」 机制



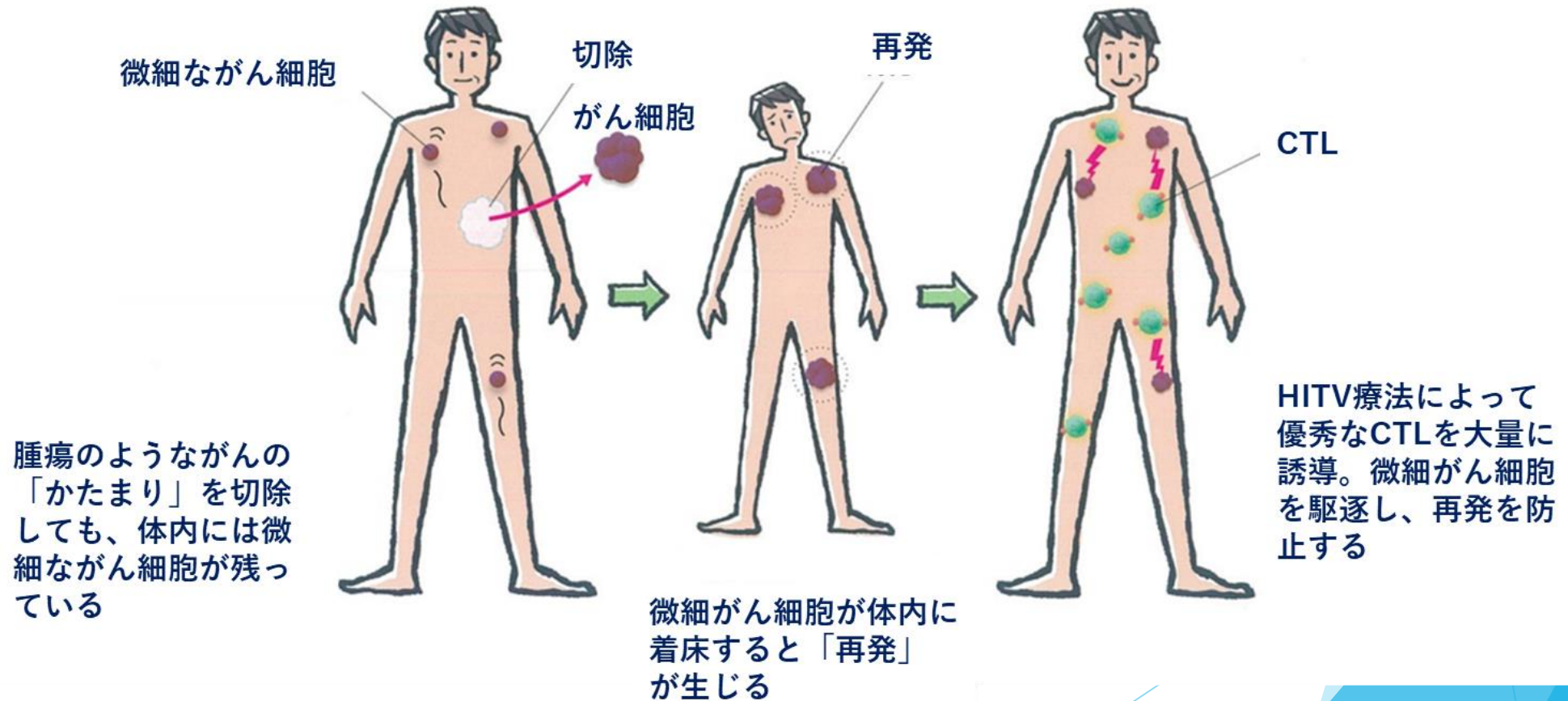
HITV療法の樹状細胞对体内癌細胞的信息了如指掌、对CTL的指令也非常精准。

HITV療法誘導的CTL对癌細胞具有高度攻击性。

CTL在樹状細胞投与后2周后，体内誘導开始并且开始攻击癌細胞。换句话说，已经成为癌症肿瘤本身产生强大CTL的工厂，这意味着，癌症肿瘤本身变成成了生产免疫細胞的工厂。

「HITV療法」血液浄化，予防転移

- 「HITV療法」可以去除「微細的癌細胞」



「HITV療法」和标准疗法并用

● HITV療法并用可以产生协同效应，增加效果

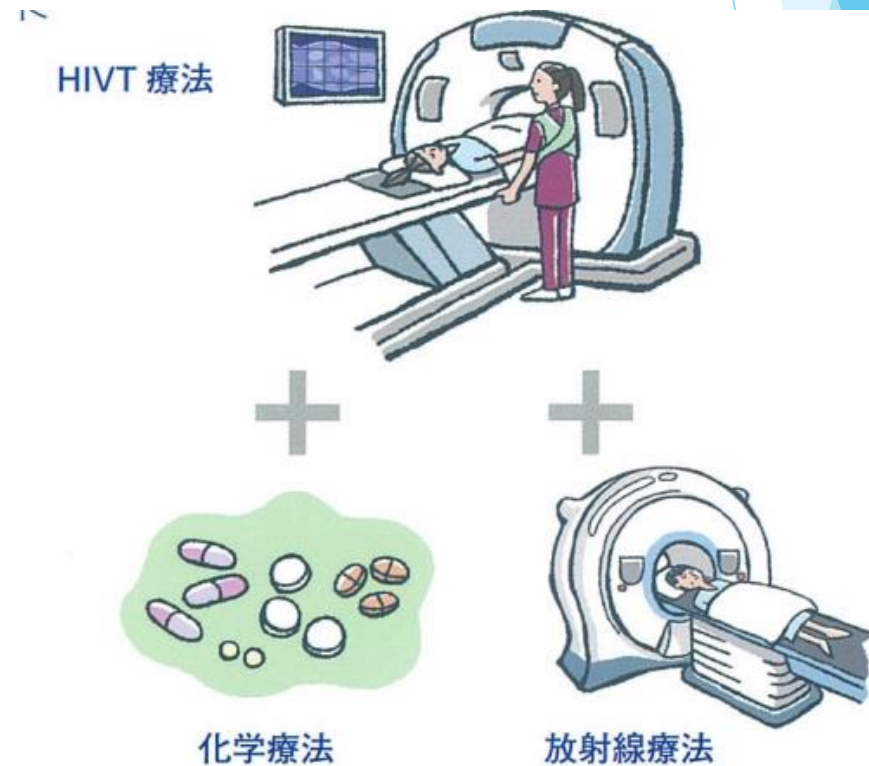
◆ 「放射線療法」和「化学療法」治疗时

HITV療法和「放射線療法」和「化学療法」并用。

HITV療法是把CTL(Cytotoxic T-lymphocyte) 输送到全身、他和「放射線療法」や「化学療法」并用互相协同、有提高疗效的作用。

◆ 弥补各种疗法的缺点的新疗法

- 強度変調放射線療法 (IMRT)
- 分子標的薬 (对癌细胞的靶向治疗)



「HITV療法」の治療流程

● HITV療法-10个步骤-

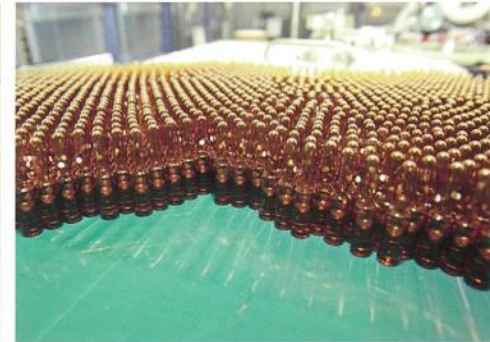
HITV疗法和标准治疗并用以及标准疗法单独治疗，患者的5年存活率兵线增加。



蓮見癌研究所

蓮見癌研究所

Hasumi Cancer Institute



細胞培養中心



細胞療法センター

Cell Therapy Center

免疫細胞療法を牽引する^{けん}

Core Laboratory for Immunotherapy



研究施設

米国法人 蓮見国際研究財団

Hasumi International Research Foundation



“がんワクチン”の普及を目指す世界への扉
“Global Gate for Cancer Vaccine”

東京リサーチセンター

HIRF Tokyo Research Center



細胞のクオリティを守る
Protecting the Cell Quality

グローバル化が進む珠光会グループにあって、細胞培養施設の現地設置は最先端免疫療法の実践には不可欠な要素。東京リサーチセンターは、各国に広がる施設の運営管理、技術指導を通じ、研究・治療に供給される細胞のクオリティを守ります。

As the Shukokai Group globalizes, Tokyo Research Center is to support the affiliated cell processing centers in various locations in the world to order to control the quality of cells which are to be used for cancer immunotherapy and its research.

医療法人珠光会在世界的治疗网络

世界に広がる珠光会グループのネットワーク The Network of the Shukokai Group in the World

世界中のがん患者さまのために

医療法人社団 珠光会は、1948年よりハスミワクチンを中心として、日本のがん免疫療法の発展を担ってきました。台湾、ブラジルなどをはじめとする海外からの受診者も増加し、同時に海外での研究活動も盛んになってきました。

1999年、米国フィラデルフィア市のトーマス・ジェファソン大学内に連見国際研究財団を設立し（現在はワシントンDCに所在）、世界の研究者のネットワークを通じて、がんワクチンの啓蒙活動を行っています。さらに新規治療に対する研究活動も活発で、米国をはじめ、中国、マレーシア、台湾、ブルガリア、オーストリアなど世界各国で実施されています。

最先端の免疫療法をもって医療全体の向上を目指す珠光会グループは、今後も世界各国の研究・医療機関と共同研究、治療、学術会議などを積極的に行っていきます。これらの成果が世界中のさまざまな臨床現場で実践・応用され、一人でも多くの人たちのQOL（生活の質）を高め、治療へ導くことこそ、珠光会グループの目的であり願いなのです。

For all the cancer patients in the world

Hasumi International Research Foundation was incorporated as a nonprofit organization in 1999, in Philadelphia, under the laws of the Commonwealth of Pennsylvania of the United States. The head office has been moved to Washington DC. The primary purpose of the Hasumi Foundation is to conduct and support scientific research in connection with finding a cure for various forms of cancer, particularly with the use of immunotherapy. Its mission also is to develop a sophisticated database and network system for the collection and dissemination of valuable data from cancer research and clinical results throughout the world.

The Hasumi Foundation is to provide support for projects that will further the research and development of effective vaccines and related technologies for cancer. Currently, the Hasumi Foundation is supporting cancer research in the United States, Japan, China, Taiwan, Malaysia and Bulgaria, and also has hosted seven times the "International Cancer Vaccine Symposium" between 2001 and 2012 in various cities: Tokyo-Japan, Beijing-China, London-UK, Washington DC-USA Vienna-Austria, New York-USA and Florence-Italy.

◆ 珠光会医療ネットワーク Shukokai Group Clinical Network

- 医療法人社団 珠光会及び関連施設**
- BSL-48 珠光会 Clinic (旧珠光会診療所)
 - BSL-48 International Clinic
 - 聖ヶ丘病院
 - 介護老人保健施設 聖の郷
 - 連見癌研究所
 - 連見細胞療法センター
- 米国法人 連見国際研究財団付属 医療法人社団 ICVS 東京クリニック**
- 連見国際研究財団付属 東京リサーチセンター
 - 台湾珠光会 (台湾)
 - ハスミインターナショナル (台湾)
 - 北京珠光会医薬品研究開発有限公司 (中国)
 - 米国法人 連見国際研究財団 (米国)
 - 連見国際研究財団ブルガリア (ブルガリア)
 - HIPPL (シンガポール)
 - HITV ラボ (マレーシア)

珠光会 研究開発 ネットワーク Shukokai Group R&D Network

- 埼玉医科大学
- 明治薬科大学
- 早稲田大学
- 国立成育医療研究センター
- メリランド州立大学 (米国)
- トーマス・ジェファソン大学 (米国)
- 国立マレーシア国民大学 (マレーシア)
- 長春中医药大学 (中国)
- 吉林省腫瘤医院 (中国)
- 国立台湾大学 (台湾)

米国法人 連見国際研究財団 (1999年設立)

- がんワクチン治療の啓蒙と育成
- 研究開発と治療の推進

主な研究開発と臨床応用と啓蒙活動 Major R&D Achievements

- 予防型がんワクチン療法
- 治療型がんワクチン療法
- がん抗原遺伝子探索
- 国際がんワクチンシンポジウム主催

BULGARIA ブルガリア/フィレンツェ

- Shukokai group clinical network
- BSL-48 Shukokai Clinic (former Shukokai Clinic)
- BSL-48 International Clinic
- Hirjigjicka Hospital
- Hirji-no-Sato Elderly Health Care Facility
- Hasumi Cancer Institute
- Cell Therapy Center
- ICVS Tokyo Clinic and Research Institute
- ICVS Research Center

連見国際研究財団ブルガリア Hasumi International Research Foundation -Bulgaria-

- Taiwan Shukokai Inc. (Taiwan)
- Basjin International (Taiwan)
- Beijin Shukokai Pharmaceutical Research and Development Co., Ltd. (China)
- Hasumi International Research Foundation (USA)
- Hasumi International Research Foundation-Bulgaria (Bulgaria)
- HPL (Singapore)
- HITV-Lab (Malaysia)

ITALY イタリア/フィレンツェ

- Saitama Medical University (Japan)
- Meiji Pharmaceutical University (Japan)
- Waseda University (Japan)
- National Center for Child Health and Development (Japan)
- University of Maryland, Baltimore (USA)
- Thomas Jefferson University (USA)
- National University of Malaysia (UKM) (Malaysia)
- Changchun College of Traditional Chinese Medicine (China)
- Jilin Provincial Cancer Hospital (China)
- National Taiwan University (Taiwan)

国際がんワクチン シンポジウム

- 世界中のがんの権威、気鋭の研究者らを集めた催されるシンポジウム
- 米国法人 連見国際研究財団によって開催される
- (写真も 2012 年イタリア/フィレンツェで開催されたシンポジウム)

REPUBLIC OF SINGAPORE シンガポール

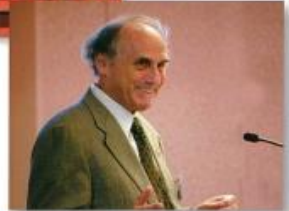
- Hasumi International Pte. Ltd.



米国メリランド州立大学 病理学部 免疫遺伝学専攻教授・学部長
ディーン・L・マン教授



第7回 国際がんワクチン シンポジウムの
演者たち



2011年のノーベル医学・生理学賞受賞者
故ラルフ・スタインマン博士
(米国法人 連見国際研究財団顧問 (当時))



米国法人
連見国際研究財団付属
ICVS東京クリニック
最先端がん免疫療法
ICVS Tokyo Clinic
State-of-the-art Cancer Immunotherapy



医療法人社団 珠光会
連見癌研究所
Hasumi Cancer Institute
米国法人 連見国際研究財団
東京リサーチセンター
Tokyo Research Center

CHINA 中華人民共和国/北京

- 北京珠光会医薬品研究開発有限公司
Beijin Shukokai Pharmaceutical Research and Development Co., Ltd.
- 長春中医学院
- 吉林省腫瘤医院

CHINESE TAIPEI 台湾/台北

- 台湾珠光会
Taiwan Shukokai Inc.
- ハスミインターナショナル



台湾珠光会、ハスミ
インターナショナルの
オフィスがある世
界貿易センタービル



台湾大学附属病院 (旧倉)
珠光会グループは同大
学と共同治療を
実施している

MALAYSIA マレーシア/クアラルンプール

- マレーシア国民大学附属病院
- 珠光会グループは、2012年より同大
学と共同治療を実施している



医療法人社団 珠光会
Shukokai Incorporated
●BSL-48 珠光会 Clinic
●BSL-48 International Clinic

UNITED STATES OF AMERICA

- 米国/ペンシルベニア州
- トーマス・ジェファソン大学
- 米国/メリランド州
- メリランド州立大学

米国法人 連見国際研究財団 Hasumi International Research Foundation



HITV・ラボ
(スンガイ・ロング病院内)